

1月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 枚方大橋～大阪府京都府境界(京阪橋本駅付近)(左岸25.7k～34.6k)		
モニター実施日時	令和 3年 1月 25日(月) 15:30時頃～ 17:00時頃		
天 候	晴れ		

(見出し)

今月は、渚体育館裏から淀川上流に向かって、牧野生涯学習センター裏までをモニターしました。

ゴミのポイ捨て、河川敷の動植物等の自然の状態、河川敷の無断使用の疑い?と注意喚起の看板等について報告します。

(内容)

<渚体育館裏の北河内サイクルロードから河川方面へ降りる>

- ・渚体育館から田んぼを横切り、北河内サイクルロードの土手へあがりました。

心地の良い晴れの夕方で、ジョギング、ウォーキングや犬の散歩、サイクリングをされている方が沢山いらっしゃいました。

- ・サイクルロードの土手両側とも綺麗に枯れ草が刈られていました、そのため大変見晴らしも良く、気持ちの良い景色でしたが、枯れ草の中に空き缶やペットボトルなどのごみが沢山点在しておりました。

草の丈がなくなった分今まで隠れていたゴミが目立つようになったのか、はたまた河川敷利用者のポイ捨てがこれほど多いのか、顔をあげたら気持ちの良い景色なのに下を見たら点々とゴミが・・・と残念な気持ちになりました。

サイクルロードではスピードの出しすぎなど、自転車での利用者のマナー向上の為に看板をたくさんみかけますが、ポイ捨て禁止の看板も増やすべきかもしれません。

- ・まだ土手側のサイクルロードはモニターしていませんが、まっすぐな道で特に何もなさそう(ということもないでしょうが)なので、土手を下る道を選び、河川に近いほうの道をモニターすることにしました。





<牧野揚排水機場付近から淀川上流29km地点付近まで>

- ・このルートは、9月に上流側から下流に向かってモニターしたルートと同じ道ですが、季節が変わるとまったく景色も一変するのに驚きました。青々と葉が生い茂った木々が見事に枝のみになっており、地面の葛などの鬱蒼とした植物も綺麗に枯れて、夏とは打って変わってなんとも広々とした見晴らしになっておりました。
 - ・土手側も河川側も、丈のあった雑草が綺麗に枯れて、前回のモニターでは見ることができなかった河川の様子がところどころはっきりと見ることができました。
- また、雑草が枯れてかき分けたり踏み倒したりしやすくなった分、河川方面に出る獣道がたくさんできておりました。おそらく野鳥観察の方や釣りの方たちが川面近くまで行かれるのではないのでしょうか。
- ・雑草が枯れ、鳥獣保護区の標識が幾分見やすくなっておりました。





- ・土手沿いとおなじように、こちらの道も雑草に点々とゴミが点在しておりました。空き缶やマスクなどが多かったですが、なかには植木鉢やラジカセなど、あきらかに不法投棄とみられるものもありました。



- ・淀川上流28.2km付近に、サイクルロードを挟んで河川反対側にひょうたん型の池があります。その周辺は以前のモニターでは雑草が深く生い茂り、周りをぐるりと立ち入り禁止の看板とロープで囲われておりました。今回のモニターでは雑草が綺麗に枯れて池の全貌が見渡せました。
- ・「あぶない はいるな」の看板とともにロープが張られて立ち入り禁止になっています。枯れた雑草の下敷きになって完全に隠れている看板もありました。





- ・ 以前のモニターで、この池を取り囲む立ち入り禁止の看板とロープの向こうに、畑や花壇のような整備された場所があったのですが、今回雑草が枯れたことにより、以前よりその場所がよく見えるようになっていました。以前のモニターでは、淀川河川事務所の観察池かなにかで、河川事務所が花壇・畑を運営しているのかとおもいましたが、危険・立ち入り禁止の旨の看板はあるものの中の畑等の施設に関する説明看板は無いし、よくよく見ると立ち入り禁止のロープが一箇所切断されて、そこに入出口を作っているのでは？と感じました。花壇の付近に電動自転車が止めてあり、もしかしたら無許可で使用しているのでは？という疑問が湧きました。こちらは一体どのような場所なのでしょう。





- ・ 枯れた木の枝に白いオリーブほどの実をつけた木をよく見かけました。
調べてみたらナンキンハゼのようでした。
- ・ ススキは高さを残したまま綺麗に枯れていました。
- ・ 枯れ草の間から川面がとても良く見えました。前日の雨で若干増水しているようでした。
川岸ギリギリまで行くことができ、夕日が水面に映ってとても綺麗でした。



<淀川上流29km地点付近、ゴルフ場横あたり>

- ・道路脇の木の枝が折れていました。道路側に落ちてくる可能性があるため、伐採したほうが安全かと思います。
- ・道路脇の伐採された木の切り株。河川敷の利用者がここで座って休憩するのでしょうか。切り株周りにスーパーの袋に入れられたゴミが散乱していました。



- ・9月にモニターした時と景色がまったく違います。冬場に来ることなどなかったので、身近な自然が季節ごとにまったく異なる顔を見せてくれることが知れて大きな発見でした。



<淀川上流28.3km付近>

- ・こちらにも、道路脇の大きな枯れ木の枝が折れていました。風などで道路側に落ちてくる可能性があるため撤去したほうがよいと思います。
- ・モニターで歩いている間、野鳥の声をたくさん聞きましたが、すぐに逃げてしまい姿をはっきり確認できたのはキジバトとモズにカラスだけでした。次回は望遠レンズ付きのカメラを持って行こうかと思っています。真冬なのでさすがに昆虫の姿はありませんでした。



・河川側に向かって枯れ草の向こうが開けている場所がところどころあり、そういう場所は川から流れ着くのか、それとも投棄されているのか大抵ゴミが散乱していました。

そして開けているスペースには菜の花でしょうか？アブラナ科の大根の葉のような植物が点在していました。





<淀川上流30km付近>

- ・ 幹に赤いリボンが結ばれている木をいくつか見かけました。伐採予定の木でしょうか。
- ・ 木の枝に落し物がぶら下げられておりました。無事落とし主の元に戻ればよいです。
- ・ 河川側の雑草がきれいに枯れて、川面に続く広大な砂地が見えました。



- ・このあと穂谷川との合流地点まで行き、今回の調査を終了しました。
季節によってまったく表情の変わる淀川河川敷を知れて、楽しい有意義なモニターでした。

(意見・感想・処置等)

一月のレポート有難うございました。

淀川上流28.2km付近のひょうたん型の池を私たちはひょうたん池とか酸化池と呼んでいます。

ひょうたん池は30年以上も前に利根川の水を浄化する実験施設の一部として人工的につくられたものです。

実験が終了した後にはひょうたん池も撤去する予定でしたが、地元の方々より存続を求める要望があがったため撤去を見送り現在に至っております。

年月が経過したことによりひょうたん池もすっかり周辺と同化し野鳥や魚のすみかとなって魅力的な箇所となっています。

ただ実験施設としてつくったため水深が深い箇所もあり危険なことから河川利用者に安全に利用していただくため池への進入箇所を限定して利用して頂いております。

池の周囲をロープで囲い進入禁止の立看板を設置しているのはこのためです。

花壇・畑については誰かが勝手にやっているものでやめていただきたいものです。

淀川は季節によっていろいろな表情をわたしたちにみせてくれます。

さまざまな野鳥や昆虫、そして植物自然にあふれています。

こんな場所にやはりゴミは似合いません。

それでは二月のレポートをお待ちしております。